

司研企一第168号

(人ろ-08)

平成26年3月25日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度特別研究会（第1回，民事事件処理の充実）の
実施について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから，貴庁管内の参加者を4月22日（火）までに推薦してください。

記

1 研究会の目的

合議や部内コミュニケーションの充実等民事事件処理の充実に向けた部の機能の活性化に関する方策について共同研究等を行う。

2 研究期間

7月14日（月）及び15日（火）の2日間

3 研究場所

司法研修所

4 カリキュラム

別添の日程表（案）のとおり

5 応募資格

地方裁判所で民事事件を担当している部総括判事（平成26年度の部総括裁判官研究会に参加する者は除く。）

6 募集人員

30人

応募が募集を上回る場合には、過去の研究会参加状況、現在の担当職務の状況等を考慮して調整する。

7 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

平成26年度特別研究会（第1回，民事事件処理の充実）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容					
7	14	月	9:50	10:00	11:30	12:30	17:00	※
			開始 あいさつ	講演及び意見交換 「高裁から見た 民事訴訟の現状と課題」 ○ ○ ○ ○	講演及び意見交換 「民事部の機能の活性化と部総括の在り方」			
	15	火	10:00	12:00	13:00	15:30		
			一般講演及び意見交換 ○ ○ ○ ○	パネルディスカッション及び意見交換 「弁護士から見た 民事訴訟の審理運営上の課題」 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 司研教官 ○ ○ ○ ○（司会）				

※ 懇談会（刑事実務研究会（裁判員Ⅱ）と合同）

平成26年3月25日

平成26年度特別研究会（第1回、民事事件処理の充実）実施要領

1 研究会の目的

合議や部内コミュニケーションの充実等民事事件処理の充実に向けた部の機能の活性化に関する方策について共同研究等を実施する。

2 研究期間

7月14日（月）及び15日（火）の2日間

3 研究場所

司法研修所

4 応募資格

地方裁判所で民事事件を担当している部総括判事（平成26年度の部総括裁判官研究会に参加する者は除く。）

なお、4月に異動予定の者は、異動後の庁で応募すること。

5 募集人員

30人

応募が募集を上回る場合には、過去の研究会参加状況、現在の担当職務の状況等を考慮して調整する。

6 カリキュラム

日程表（案）は別添のとおり

7 カリキュラムの内容

主に次のような内容のカリキュラムを実施する予定である。

（1日目）

(1) 講演及び意見交換「高裁から見た民事訴訟の現状と課題」

高裁の部総括判事を講師として、高裁から見た第一審の地裁の審理運営の現

状と課題について講演していただいた後、意見交換を行う。

(2) 講演及び意見交換「民事部の機能の活性化と部総括の在り方」

民事局長から、部の機能の活性化、部総括としての現状と課題の把握方法、取組に向けた課題等に関して講演していただいた後、次のテーマを中心に意見交換を行う。

- ①合議と単独の振り分けの考慮要素，振り分けのシステム
- ②合議の在り方
- ③審理運営方針に関する部内の共有，改善の在り方
- ④判断事項に関する意見交換の活性化のあい路と克服策
- ⑤部内の情報共有の在り方（特に単独事件の状況）
- ⑥陪席の成長支援の在り方

（2日目）

(3) 一般講演及び意見交換

外部から専門家を講師に招き、部の運営あるいは合議の在り方に関して参考となるテーマについて講演していただく。

(4) パネルディスカッション及び意見交換「弁護士から見た民事訴訟の審理運営上の課題」

複数の弁護士をパネリストに招き、民事訴訟の審理運営にどのような問題が生じているのか、部の運営についてどのように見えるのか等について、代理人弁護士の立場から講演していただいた後、審理運営上の問題及び部の運営上配慮すべき点等について意見交換を行う。

平成26年度特別研究会（第1回，民事事件処理の充実）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容					
			9:50	10:00	11:30	12:30	17:00	※
	14	月	開始 あいさつ	講演及び意見交換 「高裁から見た 民事訴訟の現状と課題」 ○ ○ ○ ○		講演及び意見交換 「民事部の機能の活性化と部総括の在り方」		
7			10:00	12:00	13:00	16:00		
	15	火	一般講演及び意見交換 ○ ○ ○ ○		パネルディスカッション及び意見交換 「弁護士から見た 民事訴訟の審理運営上の課題」 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 司研教官 ○ ○ ○ ○（司会）			

※ 懇談会（刑事実務研究会（裁判員Ⅱ）と合同）

平成26年度特別研究会（第1回）

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京地裁	本 多 知 成	
		齋 藤 繁 道	
	横浜地裁	市 村 弘 弘	
	さいたま地裁	野 村 高 弘	
	千葉地裁	金 子 直 史	
	静岡地裁	村 野 裕 二	
	長野地裁	石 原 寿 記	
大阪	新潟地裁	大 竹 優 子	
	大阪地裁	大 古 財 英 明	
		相 澤 眞 木 裕	
		森 田 眞 邦 一 美	
名古屋	京都地裁	比 嘉 井 千 鶴 子	
	神戸地裁	松 井 本 眞 一 子	
	和歌山地裁	橋 本 田 眞 彰 子	
	名古屋地裁	戸 田 木 浩 浩 子	
	岐阜地裁	唐 阿 多 賀 麻 輝 郎	
広島	富山地裁	阿 古 賀 崎 輝 英 純	
	広島地裁	森 北 澤 木 口 浩 亮	
福岡	岡山地裁	北 青 山 宮 内 武 藤 裕 博	
	福岡地裁	青 山 宮 内 鈴 市 川 多 美 子	
	大分地裁	宮 内 鈴 市 川 多 美 子	
	宮崎地裁	那 覇 地 裁 仙 台 地 裁	
仙台	仙台地裁	秋 田 地 裁 札 幌 地 裁	
	秋田地裁	札 幌 地 裁	
札幌	札幌地裁	本 本 鈴 木 田 尚 晃	
		本 本 鈴 木 田 尚 晃	
	函館地裁	徳 島 地 裁 松 山 地 裁	
高松	徳島地裁	松 山 地 裁	
	松山地裁		

合計 32 人

平成26年5月23日

平成26年度特別研究会（第1回）参加者 殿

司法研修所事務局長 吉 崎 佳 弥

平成26年度特別研究会（第1回，民事事件処理の充実）に
ついて（事務連絡）

標記の研究会について，下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所，宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

7月14日（月）午前9時40分 当研修所別館 研修棟3階受付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については，当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を
用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は，研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

- 1 日程表 (案)
- 2 参加者名簿

平成26年度特別研究会（第1回，民事事件処理の充実）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容					
	14	月	9:50	10:00	11:30	12:30	17:00	※
			開始 あいさつ	講演及び意見交換 「高裁から見た 民事訴訟の現状と課題」 東京高裁部総括判事 瀧澤 泉		講演及び意見交換 「民事部の機能の活性化と部総括の在り方」 民事局長 永野厚郎		
7	15	火	10:00	12:00	13:00	16:00		
			一般講演及び意見交換 「対話力（仮題）」 ■■■■■■■■■■		パネルディスカッション及び意見交換 「弁護士から見た 民事訴訟の審理運営上の課題」 弁護士 馬橋隆紀 弁護士 片岡義広 弁護士 宮本圭子 司研教官 花村良一（司会）			

※ 懇談会（刑事実務研究会（裁判員Ⅱ）と合同）

平成26年度特別研究会（第1回）

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考	
東京	東京地裁	本 多 知 成		
		齋 藤 繁 道		
	横浜地裁	市 村 村 弘		
	さいたま地裁	野 村 高 弘		
	千葉地裁	金 子 直 史		
	静岡地裁	村 野 裕 二		
	長野地裁	石 原 寿 記		
新潟地裁	新潟地裁	大 竹 優 子		
	大阪地裁	大 古 財 英 明		
		相 澤 眞 木 裕		
京都地裁	京都地裁	比 嘉 一 美		
	神戸地裁	松 井 千 鶴 子		
	和歌山地裁	橋 本 眞 一 子		
	名古屋地裁	名古屋地裁	戸 田 眞 彰 子	
		岐阜地裁	唐 木 浩 之	
富山地裁	富山地裁	阿 多 麻 輝 子		
	広島地裁	広島地裁	古 賀 輝 郎	
岡山地裁		岡山地裁	森 北 澤 英 純	
	福岡地裁	青 山 木 口 浩 亮		
	大分地裁	山 宮 武 康		
宮崎地裁	宮崎地裁	内 藤 裕 之		
	那覇地裁	鈴 木 博 子		
	仙台地裁	仙台地裁	市 川 多 美 子	
秋田地裁		棚 橋 哲 夫		
札幌地裁	札幌地裁	本 間 健 裕		
	函館地裁	本 田 晃 久		
高松地裁	徳島地裁	本 鈴 尚 豊		
	松山地裁	森 田 實 将		

合計 32 人

司研企一第290号

(人ろ-08)

平成26年5月30日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度特別研究会（第2回，後見関係事件の運用をめ
ぐる諸問題）の実施について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから，貴庁管内の参加者を6月20日
（金）までに推薦してください。

記

1 研究会の目的

後見関係事件の動向，特に後見等監督事件の運用状況，後見制度支援信託や市民後見の活用状況等を踏まえ，今後の後見等監督の在り方と課題等について，研究，討議を行う。

なお，同時期に開催される裁判所職員総合研修所の家事特別研究会と合同で実施する予定である。

2 研究期間

9月25日（木）及び26日（金）の2日間

3 研究場所

司法研修所

4 カリキュラム

別添の日程表（案）のとおり

5 対象者

各家庭裁判所本庁において後見関係事件を担当する判事又は判事補

6 人員

50名（各庁1名）

なお、裁判所職員総合研修所から後見関係事件を担当する主任書記官50名（家事特別研究会の研究員）が参加する。

7 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

平成26年度特別研究会（第2回，後見関係事件の運用をめぐる諸問題）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容				
9	25	木	裁判所職員総合研修所と合同実施※1				※2
			9:40	9:50	11:20	11:30	
			合同開始式	説明 「後見事件・財産管理事件の運用に関する諸問題」 家庭局第二課長 和波宏典	共同研究1（全体討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」 (情報提供者) 家庭局第二課長 和波宏典	共同研究1（班別討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」	
9	26	金	裁判所職員総合研修所と合同実施※1				
			9:30		11:10	11:30	
			共同研究1（全体討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」 (情報提供者) 家庭局第二課長 和波宏典	共同研究2 「市民後見に関する事項」 (情報提供者) 家庭局第二課長 和波宏典			

- ※1 司研別館で実施
- ※2 合同懇談会を予定

平成26年7月3日

平成26年度特別研究会（第2回）の実施要領

（1日目）

1 説明「後見事件・財産管理事件の運用に関する諸問題」

家庭局第一課長から、後見事件・財産管理事件の運用に関する全国的な現状と課題についての説明を行う。

2 共同研究1（全体討議）「これからの後見等監督の在り方と課題」

以下の事項につき、研究員から基調報告をしてもらい、その後、意見交換を行う。

- (1) 信託の利用状況
- (2) 自主報告方式の運用状況又は導入に向けた準備状況
- (3) 親族後見人等選任事件の点検結果から見た不正事案の把握状況
- (4) その他後見等監督の見直しに向けた取組状況

3 共同研究1（班別討議）「これからの後見等監督の在り方と課題」

以下の事項について、班別で意見交換を行う。

- (1) 監督区分の在り方について
- (2) 親族後見人に対する監督方法について
- (3) 専門職後見人に対する監督方法について
- (4) 信託の活用について

（2日目）

4 共同研究1（全体討議）「これからの後見等監督の在り方と課題」

上記3の(1)から(4)までのテーマ全体について、班別討議の結果を共有した上で全体討議を行う。

5 共同研究2「市民後見に関する事項」

家庭局第一課長から、市民後見をめぐる近時の状況についての情報提供を行い、

その後、市民後見を活用している複数庁から実情を紹介してもらい、意見交換を行う。

平成26年度特別研究会（第2回，後見関係事件の運用をめぐる諸問題）

参加者名簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考	
東京	東京家裁	小 西	洋	
	横浜家裁	浦 木	厚 利	
	さいたま家裁	齋 藤	大 巳	
	千葉家裁	猪 俣	和 代	
	水戸家裁	澁 谷	輝 一	
	宇都宮家裁	間 部	泰 攻	
	前橋家裁	今 井	恭 子	
	静岡家裁	生 島	和 枝	
	甲府家裁	比 佐	光 晴	
	長野家裁	若 松	光 紀	
	新潟家裁	田 口	美 奈 子	
大阪	大阪家裁	村 岡	寛 子	
	京都家裁	惣 脇	知 佐 子	
	神戸家裁	池 垣	昭 利	
	奈良家裁	西 口	雅 裕	
	大津地裁	山 林	直 樹	
	和歌山家裁	小 宮	下 尚 行	
	名古屋	名古屋家裁	津 松	克 之 子
名古屋	岐阜家裁	上 田	日 出 子	
	福井家裁	大 村	泰 平	
	金沢家裁	和 田	三 貴 子	
	富山家裁	源 植	孝 智 彦	
	広島	広島家裁	田 山	智 真 理 子
	山口家裁	内 山	真 久 子	
	岡山家裁	早 田	林 仁 美	
	鳥取家裁	武 上	田 元 和	
	松江家裁	上 岡	田 健	
	福岡	福岡家裁	岡 金	子 隆 雄
	佐賀家裁	金 平	子 井 健 一 郎	
	長崎家裁	世 森	平 亮 次	
	大分家裁	西 藤	世 征 志	
	熊本家裁	西 藤	前 井 秀 樹	
	鹿児島家裁	加 藤	加 藤 聡	
	宮崎家裁			

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考	
福岡	那覇家裁	進 藤	光 慶	
	仙台家裁	本 村	洋 平	
仙台	福島家裁	小 川	直 人	
	山形家裁	田 中	昭 行	
	盛岡家裁	堀 田	秀 一	
	秋田家裁	田 岡	薫 征	
	青森家裁	高 木	勝 己	
	札幌	札幌家裁	栗 原	壯 太
		函館家裁	大 倉	靖 広
旭川家裁		藪 田	貴 史	
高松	釧路地裁	中 川	正 隆	
	高松家裁	福 井	美 枝	
	徳島家裁	熱 田	康 明	
	高知家裁	増 田	純 平	
	松山家裁	坂 田	千 絵	

合計 50 人

平成26年7月2日

平成26年度特別研究会（第2回）参加者 殿

司法研修所事務局長 吉崎佳弥

平成26年度特別研究会（第2回，後見関係事件の運用をめぐ
る諸問題）について（事務連絡）

標記の研究会について，下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所，宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

9月25日（木）午前9時30分 当研修所別館 研修棟3階受付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については，当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を
用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は，研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

- 1 日程表 (案)
- 2 参加者名簿

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容				
9	25	木	裁判所職員総合研修所と合同実施※1				※ 2
			9:40	9:50	11:20	11:30	
			合同開始式 説明 「後見事件・財産管理事件の運用に関する諸問題」 家庭局第一課長 馬 渡 直 史	共同研究1（全体討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」 （情報提供者） 家庭局第一課長 馬 渡 直 史	共同研究1（班別討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」		
9	26	金	裁判所職員総合研修所と合同実施※1				
			9:30	11:10	11:30	12:10	
			共同研究1（全体討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」 （情報提供者） 家庭局第一課長 馬 渡 直 史	共同研究2 「市民後見に関する事項」 （情報提供者） 家庭局第一課長 馬 渡 直 史			

※1 司研別館で実施
 ※2 合同懇談会を予定

平成26年度特別研究会（第2回，後見関係事件の運用をめぐる諸問題）

参加者名簿

高裁管内	本務庁	氏名	備考	
東京	東京家裁	小西洋		
	横浜家裁	浦木厚利		
	さいたま家裁	齋藤大巳		
	千葉家裁	猪俣和代		
	水戸家裁	澁谷輝一		
	宇都宮家裁	間部泰攻		
	前橋家裁	今井		
	静岡家裁	生島恭子		
	甲府家裁	比佐和枝		
	長野家裁	若松光晴		
大阪	新潟家裁	田口紀子		
	大阪家裁	村岡寛		
	京都家裁	惣脇美奈子		
	神戸家裁	池町知佐子		
	奈良家裁	西垣昭利		
	大津地裁	山口雅裕		
	和歌山家裁	小林直樹		
	名古屋	名古屋家裁	小宮尚行	
		津家裁	松田克之	
		岐阜家裁	上田日出子	
福井家裁		大村泰平		
金沢家裁		和源三貴子		
富山家裁		源孝治		
広島	広島家裁	植田智彦		
	山口家裁	内山真理子		
	岡山家裁	早田久子		
	鳥取家裁	武林仁美		
	松江家裁	上田元和		
福岡	福岡家裁	岡田健		
	佐賀家裁	金子隆雄		
	長崎家裁	平井健一郎		
	大分家裁	世森亮次		
	熊本家裁	西森征志		
	鹿児島家裁	藤前井秀樹		
	宮崎家裁	加藤	聡	

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
福岡	那覇家裁	進 藤 光 慶	
仙台	仙台家裁	本 村 洋 平	
	福島家裁	小 川 直 人	
	山形家裁	田 中 昭 行	
	盛岡家裁	堀 田 秀 一	
	秋田家裁	田 岡 薫 征	
	青森家裁	高 木 勝 己	
札幌	札幌家裁	高 栗 壯 太	
	函館家裁	大 倉 靖 広	
	旭川家裁	大 藪 貴 史	
	釧路地裁	中 川 正 隆	
高松	高松家裁	福 井 美 枝	
	徳島家裁	熱 田 康 明	
	高知家裁	増 田 純 平	
	松山家裁	坂 田 千 絵	

合計 50 人

平成26年度特別研究会（第2回，後見関係事件の運用をめぐる諸問題）

日 程 表

月	日	曜	実 施 内 容				
9	25	木	裁判所職員総合研修所と合同実施※1				※2
			9:40	9:50	11:20	11:30	
			合同開始式	説明 「後見事件・財産管理事件の運用に関する諸問題」 家庭局第一課長 馬 渡 直 史	共同研究1（全体討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」 (情報提供者) 家庭局第一課長 馬 渡 直 史	共同研究1（班別討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」	
9	26	金	裁判所職員総合研修所と合同実施※1				
			9:30		11:10	11:30	
			共同研究1（全体討議） 「これからの後見等監督の在り方と課題」 (情報提供者) 家庭局第一課長 馬 渡 直 史	共同研究2 「市民後見に関する事項」 (情報提供者) 家庭局第一課長 馬 渡 直 史			

※1 司研別館で実施
 ※2 合同懇談会を予定

司研企一第340号

(人ろ-08)

平成26年6月6日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）の実施について

（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから，貴庁管内の参加者を6月20日（金）までに推薦してください。

記

1 研究会の目的

中小規模庁における破産管財事件処理の適正迅速化を図るための方策等について，研究，討議を行う。

2 研究期間

9月29日（月）及び30日（火）の2日間

3 研究場所

司法研修所

4 カリキュラム

別添の日程表（案）のとおり

5 対象者

各地方裁判所本庁（東京地方裁判所及び大阪地方裁判所を除く。）において倒産事件を担当する部総括判事又は部総括判事に準じる判事

6 人員

48人（各庁1人）

7 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

平成26年度特別研究会（第3回、倒産）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容			
9	29	月	12:50 開始 あいさつ	13:00	17:00	※
				<p>共同研究 「中小規模庁における破産管財事件 処理の適正迅速化を阻害する事情と その改善策」</p> <p>東京地裁部総括判事 鹿子木 康 大阪地裁部総括判事 森 純 子 民事局第一課長兼第三課長 福田千恵子</p>		
	30	火	10:00	12:00	13:00	15:00
			<p>講演と意見交換 「中小規模庁における倒産事 件処理の問題点」(仮題) 弁護士 ○○○○</p>	<p>講演と意見交換 「破産管財業務の現場か ら」(仮題) 弁護士 腰塚和男</p>		

※懇談会を予定

平成26年7月2日

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）の実施要領

（第1日目 13:00～17:00）

1 共同研究「中小規模庁における破産管財事件処理の適正迅速化を阻害する事情とその改善策」

東京地裁の鹿子木康部総括判事及び大阪地裁の森純子部総括判事を講師として、民事局の福田千恵子第一課長兼第三課長から適宜、情報提供をしてもらいながら、日ごろ、研究員が実務を行う上で問題となっている点の解決策及び改善策等に関して、共同研究を行う。

（第2日目 10:00～12:00）

2 講演と意見交換「中小規模庁における倒産事件処理の問題点」（仮題）

本庁と支部において破産管財人を経験されている山田尚武弁護士及び八木宏弁護士を講師として、破産管財人の立場から、当該弁護士の所属している弁護士会に対応する裁判所（支部を含む。）における事件管理の在り方や、裁判所と破産管財人あるいは弁護士会との連携の在り方について講演をしていただいた後、意見交換を行う。

（第2日目 13:00～15:00）

3 講演と意見交換「より迅速な破産管財業務にむけて～～破産管財人から見た問題点と課題～～」

困難な管財事件を数多く経験されている腰塚和男弁護士を講師として、円滑な破産管財業務のための裁判所の意識や監督の在り方について講演をしていただいた後、意見交換を行う。

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）

参 加 者 名 簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	横浜地裁	沖 中	康 人
	さいたま地裁	原	啓 一 郎
	千葉地裁	甲 良	充 一 郎
	水戸地裁	新 谷	晋 司
	宇都宮地裁	吉 田	尚 弘
	前橋地裁	原	道 子
	静岡地裁	伊 丹	恭 和
	甲府地裁	佐 久 間	政 記
	長野地裁	石 原	藤 巖
	新潟地裁	齋 藤	明 子
大阪	京都地裁	佐 藤	重 子
	神戸地裁	稻 池	尚 子
	奈良地裁	池 上	ゆ り
	大津地裁	北 村	眞 一 子
名古屋	和歌山地裁	橋 本	眞 桃 子
	名古屋地裁	池 原	さ や か
	津地裁	瀬 戸	眞 紀 子
	岐阜地裁	武 藤	英 明
	福井地裁	樋 口	健 子
	金沢地裁	和 田	多 毅
広島	富山地裁	阿 多	泰 秀
	広島地裁	絹 川	秀 久
	山口地裁	宮 寄	久 慶
	岡山地裁	曳 野	元 順
	鳥取地裁	力 元	山 一 毅
福岡	松江地裁	杉 山	立 川 史
	福岡地裁	立 川	波 多 江 眞 隆
	佐賀地裁	波 多 葉	松 浩
	長崎地裁	松 葉	竹 政
	大分地裁	竹 福	内 敏
	熊本地裁	福 杉	島 幹
	熊本地裁	末 片	吉 信
	鹿児島地裁	末 片	山 司
仙台	宮崎地裁	森 田	強
	那覇地裁	森 田	強

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
仙台	福島地裁会津若松支	渡 邊 和 義	
	山形地裁鶴岡支	阿 部 雅 彦	
	盛岡地裁	小 川 理 津 子	
	秋田地裁	太 田 雅 之	
	青森地裁	田 中 一 彦	
札幌	札幌地裁	佐 藤 卓	
	函館地裁	矢 口 俊 哉	
	旭川地裁	武 藤 明	
	釧路地裁	中 川 博 文	
高松	高松地裁	横 川 朋 生	
	徳島地裁	黒 田 豊	
	高知地裁	名 島 亨 卓	
	松山地裁	森 實 将 人	

合計 48 人

平成26年7月10日

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）参加者 殿

司法研修所事務局長 吉崎佳弥

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）について

（事務連絡）

標記の研究会について，下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所，宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

9月29日（月）午後零時40分 当研修所別館 研修棟3階受付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については，当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は，研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

- 1 日程表 (案)
- 2 参加者名簿

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容				
9	29	月		12:50	13:00	17:00	※
				開始 あいさつ	共同研究 「中小規模庁における破産管財事件 処理の適正迅速化を阻害する事情と その改善策」 東京地裁部総括判事 鹿子木 康 大阪地裁部総括判事 森 純子 民事局第一課長兼第三課長 福田千恵子		
	30	火	10:00	12:00	13:00	15:00	
			講演と意見交換 「中小規模庁における倒産 事件処理の問題点」（仮 題） 弁護士 山田 尚武 弁護士 八木 宏		講演と意見交換 「より迅速な破産管財業務 にむけて～～破産管財人か ら見た問題点と課題～～」 弁護士 腰塚 和男		

※ 懇談会を予定

平成26年度特別研究会（第3回，倒産）

参加者名簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	横浜地裁	沖 中 康 人	
	さいたま地裁	原 啓 一 郎	
	千葉地裁	甲 良 充 一 郎	
	水戸地裁	新 谷 晋 司	
	宇都宮地裁	吉 田 尚 弘	
	前橋地裁	原 道 子	
	静岡地裁	伊 丹 恭	
	甲府地裁	佐 久 間 政 和	
	長野地裁	石 原 原 政 寿	
	新潟地裁	齋 藤 巖	
大阪	京都地裁	佐 藤 明 子	
	神戸地裁	稻 葉 重 子	
	奈良地裁	池 上 尚 子	
	大津地裁	北 村 ゆ り	
名古屋	和歌山地裁	橋 本 眞 一 子	
	名古屋地裁	池 原 桃 子	
	津地裁	瀬 戸 さ や か	
	岐阜地裁	武 藤 眞 紀 子	
	福井地裁	樋 口 英 明	
	金沢地裁	和 田 健 子	
広島	富山地裁	阿 多 麻 子	
	広島地裁	絹 川 泰 毅	
	山口地裁	宮 寄 秀 典	
	岡山地裁	曳 野 久 男	
	鳥取地裁	力 元 慶 雄	
福岡	松江地裁	杉 山 順 一	
	福岡地裁	立 川 毅 史	
	佐賀地裁	波 多 江 眞 隆	
	長崎地裁	松 葉 佐 史 之	
	大分地裁	竹 内 浩 史	
	熊本地裁	福 島 政 幸	
	鹿児島地裁	杉 本 敏 彦	
	宮崎地裁	末 吉 幹 和	
	那覇地裁	片 山 信 司	
	仙台	仙台地裁	森 田 強

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
仙台	福島地裁会津若松支	渡 邊 和 義	
	山形地裁鶴岡支	阿 部 雅 彦	
	盛岡地裁	小 川 理 津 子	
	秋田地裁	太 田 雅 之	
	青森地裁	田 中 一 彦	
札幌	札幌地裁	佐 藤 卓	
	函館地裁	矢 口 俊 哉	
	旭川地裁	武 藤 明	
	釧路地裁	中 川 博 文	
高松	高松地裁	横 川 朋 生	
	徳島地裁	黒 田 豊	
	高知地裁	名 島 亨 卓	
	松山地裁	森 實 将 人	

合計 48 人

平成26年度特別研究会（第3回、倒産）

日 程 表

月	日	曜	実 施 内 容				
9	29	月		12:50	13:00	17:00	※
				開始 あいさつ	共同研究 「中小規模庁における破産管財事件処理 の適正迅速化を阻害する事情とその改善 策」 東京地裁部総括判事 中山 孝雄 大阪地裁部総括判事 森 純子 民事局第一課長兼第三課長（情報提供） 福田千恵子		
	30	火	10:00	12:00	13:00	15:00	
			講演と意見交換 「中小規模庁における倒産 事件処理の問題点」 弁護士 山田 尚武 弁護士 八木 宏		講演と意見交換 「より迅速な破産管財業務 にむけて～～破産管財人か ら見た問題点と課題～～」 弁護士 腰塚 和男		

※ 懇談会を予定

司研企一第465号

(人ろ-08)

平成26年8月1日

東京高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）の実施
について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから，貴庁管内の参加者を8月20日（水）までに推薦してください。

記

1 研究会の目的

平成25年12月に成立した私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の改正法に関する理解を深めた上で，改正後の裁判実務についての意見交換を行う。

2 研究期間

10月24日（金）の1日間

3 研究場所

東京地方裁判所

4 カリキュラム

別添の日程表（案）のとおり

5 対象者

東京地方裁判所に所属する判事又は判事補で，公正取引委員会が行う排除措置命令等の処分に係る抗告訴訟等を担当する可能性があるもの

6 人員

10人

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容			
10	24	金	13:20	13:30		17:00
			開始 あいさつ	パネルディスカッション 「改正独占禁止法の審理運営について」 (モデレーター) [Redacted] [Redacted] (パネリスト) 弁護士 同 同 公正取引委員会 同 同 東京地方裁判所部総括判事 東京地方裁判所判事 同 (司会) 司研教官	宮 城 朗 向 宣 明 矢 吹 公 敏 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 大 竹 昭 彦 氏 本 厚 司 秋 吉 信 彦 花 村 良 一	

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）

参加者名簿

高裁管内	本務庁	氏名	備考
東京	東京地裁	松 下 貴 彦 能 登 謙 太 郎 葛 西 功 洋 小 川 曉 多 田 尚 史 和 田 将 紀 櫻 井 進 村 尾 泰 日 下 部 和 祥 史	

合計 9 人

平成26年9月26日

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）参加者 殿

司法研修所事務局長 吉崎佳弥

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）について
（事務連絡）

標記の研究会について，下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所等

(1) 場所 東京地方裁判所

(2) 集合 10月24日（金）午後1時10分

東京高等・地方・簡易裁判所合同庁舎14階

裁判官第3研究室

3 参加者

参加者名簿のとおり

添付書類

1 日程表（案）

2 参加者名簿

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容	
10	24	金	13:20	13:30
			開始 あいさつ	17:00
			パネルディスカッション 「改正独占禁止法の審理運営について」 (モデレーター) [Redacted] [Redacted] (パネリスト) 弁護士 官 城 朗 同 向 宣 明 同 矢 吹 公 敏 公正取引委員会官房参事官 岩 成 博 夫 公正取引委員会審査局審査企画官 小 室 尚 彦 公正取引委員会審査局 萩 原 浩 太 審査企画官付審査専門官 大 竹 昭 彦 東京地方裁判所部総括判事 小野寺 真 也 東京地方裁判所判事 秋 吉 信 彦 同 (司会) 司研教官 花 村 良 一	

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）

参加者名簿

高裁管内	本務庁	氏名	備考
東京	東京地裁	松下貴彦 能登謙太郎 葛西功洋 小川曉史 多田尚紀 和井将進 村尾泰史 日下部和祥	

合計 9 人

平成26年度特別研究会（第4回，独占禁止法改正）

日 程 表

月	日	曜	実 施 内 容	
10	24	金	13:20	13:30
			開始 あいさつ	17:00
			パネルディスカッション 「改正独占禁止法の審理運営について」 (モデレーター) (パネリスト) 弁護士 同 同 公正取引委員会事務総局官房参事官 公正取引委員会事務総局 審査局管理企画課審査企画官 公正取引委員会事務総局 審査局管理企画課審査企画官付 東京地方裁判所部総括判事 東京地方裁判所判事 同 (司会) 司研教官	
				矢 吹 公 敏 宮 城 朗 向 宣 明 岩 成 博 夫 小 室 尚 彦 萩 原 浩 太 大 竹 昭 彦 小野寺 真 也 秋 吉 信 彦 花 村 良 一

司研企一第541号

(人ろ-08)

平成26年9月9日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度特別研究会（第5回、当事者の特性に応じた審理の在り方）の実施について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから、貴庁管内の参加者を10月3日（金）までに推薦してください。

記

1 研究会の目的

障害者、犯罪被害者、相手方からの妨害や報復を恐れる者等が当事者等となった民事事件の審理の在り方について、研究、討議を行う。

なお、同時期に開催される裁判所職員総合研修所の民事実務研究会（第2回）と一部合同で実施する予定である。

2 研究期間

平成27年1月15日（木）及び16日（金）の2日間

3 研究場所

司法研修所

4 カリキュラム

別添の日程表（案）のとおり

5 対象者

高等裁判所又は地方裁判所で民事事件を担当する判事又は特例判事補

6 人員

50人

高裁管内別	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌	高松	計
人員	11	6	6	5	8	6	4	4	50

なお、裁判所職員総合研修所から民事実務研究会（第2回）の研究員が参加する。

7 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容									
1	15	木	裁判所職員総合研修所（総研）と合同実施									
			9:30	9:40	10:10	10:20	11:50	12:50	15:40	16:00	17:30	※
			開始 あいさつ	説明 「要配慮者を取り巻く最近の状況について」 （仮題） 民事局第二課長 餘多分 宏 聡		講演 「障害者に対する配慮について」 （仮題） 国立障害者リハビリ テーションセンター ○ ○ ○ ○		「要配慮者疑似体験」 （仮題）		講演と意見交換 「法廷におけるバリアフリー」 （仮題） 弁護士 田 門 浩		
			総研と合同実施						14:00	16:00		
			9:40	13:40	共同研究 「要配慮者を当事者等とする民事事件の審理の在り方」 （仮題） ○○地裁判事 ○ ○ ○ ○ 民事局第二課長(情報提供) 餘多分 宏 聡 司研教官(司会) 藤 澤 裕 介				終了			
	16	金										

※ 総研との合同懇談会を予定

平成26年10月23日

平成26年度特別研究会（第5回）の実施要領

以下の1ないし5は、裁判所職員総合研修所との合同実施カリキュラムであり、6（2日目午後実施）は、司法研修所単独実施カリキュラムである。

（1日目）

1 説明「要配慮者を取り巻く最近の状況について」（仮題）

民事局第二課長から、障害を有する人、犯罪被害者、相手方からの妨害や報復を恐れる者等といった要配慮者を取り巻く最近の民事事件の状況等について、説明を行う。

2 講演「障害者に対する配慮について」（仮題）

国立障害者リハビリテーションセンターの職員を講師に迎え、障害を有する人の特性を理解する契機とするため、障害種別の特性及び障害を有する人への対応における配慮の在り方について講演をしていただく予定である。

3 「要配慮者疑似体験」（仮題）

様々な特性を有する人が司法手続を利用する上で配慮を要することがらについて考える前提として、障害及び障害のある人の置かれた状態に関する正しい理解を得るため、疑似体験を実施する。

4 講演と意見交換「聴覚障害のある人へのわかりやすい伝え方～法廷活動を通じて感じたこと」

弁護士の田門浩氏を講師に迎え、これまでの自らの体験を踏まえ、聴覚障害を有する人の特性及び聴覚障害を有する人に対する法廷等でのコミュニケーションの在り方等について講演をしていただく予定である。

(2日目)

5 共同研究(班別討議・全体討議)「当事者等の特性に応じた配慮を要する民事事件における裁判官と書記官の協働について」

障害を有する者、犯罪被害者、相手方からの妨害や報復を恐れる者など様々な特性を有する者が当事者等となる民事事件の処理に当たり、その当事者等の特性に応じた審理を行う上で必要な裁判官と書記官との情報共有その他の協働の在り方について、いくつかの具体的なテーマを取り上げて、裁判官と書記官との間で、班別で討議する予定である。

6 共同研究「障害者、プライバシーの保護に配慮を要する者を当事者等とする民事事件の審理運営上の諸問題」

東京地裁部総括判事の清水響判事を講師に迎え、障害を有する者、犯罪被害者、相手方からの妨害や報復を恐れる者など様々な特性を有する者が当事者等となる民事事件の審理運営上の諸問題について、裁判官研究員の間で意見交換を行う予定である。

平成26年度特別研究会（第5回，当事者の特性）

参加者名簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京地裁	山 原 佳 奈	
	横浜地裁	小 野 瀬 昭	
	さいたま地裁	大 島 淳 司	
	千葉地裁	瀬 戸 啓 子	
	水戸地裁	日 下 部 克 通	
	宇都宮地裁	岩 坪 朗 彦	
	前橋地裁	大 野 和 明 子	
	静岡地裁沼津支	高 取 真 理 子	
	甲府地裁	三 重 野 真 人	
	長野地裁松本支	今 岡 健 子	
	新潟地裁長岡支	石 田 佳 世 子	
大阪	大阪地裁	佐 伯 良 子	
	京都地裁	上 田 賀 代	
	神戸地裁	間 明 充 子	
	奈良地裁	池 上 尚 裕 子	
	大津地裁	山 口 雅 隼 人	
	和歌山地裁	山 下 猪 股 直 子	
名古屋	名古屋地裁	猪 股 直 崇 雄	
	津地裁	佐 田 崇 浩 之 彦	
	岐阜地裁	唐 木 明 容 子	
	福井地裁	石 田 宏 達 之 男	
	金沢地裁	峯 金 堀 純 一 雄	
	富山地裁高岡支	内 吉 岡 茂 和 純 慶	
	富山地裁高岡支	内 吉 岡 茂 和 純 慶	
広島	広島地裁	吉 岡 茂 和 純 慶	
	山口地裁下関支	大 藪 澤 純 一 雄	
	岡山地裁	北 澤 元 慶 一 雄	
	鳥取地裁	力 元 慶 一 雄	
	松江地裁	三 島 興 一 勝 治	
福岡	福岡地裁	石 上 賀 正 洋 平 樹 彦 幸	
	佐賀地裁唐津支	志 賀 正 洋 平 樹 彦 幸	
	長崎地裁大村支	中 西 正 洋 平 樹 彦 幸	
	大分地裁杵築支	川 口 正 洋 平 樹 彦 幸	
	熊本地裁	桂 木 正 敏 利 彦 幸	
	鹿児島地裁	杉 本 敏 利 彦 幸	
宮崎地裁	安 部 敏 利 彦 幸		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
福岡	那覇地裁沖繩支	味 元 厚 二 郎	
仙台	仙台地裁	内 田 哲 也	
	福島家裁郡山支	南 雲 大 輔	
	山形地裁酒田支	室 橋 秀 紀	
	盛岡地裁一関支	大 野 晃 宏	
	秋田地裁大館支	澤 田 久 文	
	青森地裁	池 田 幸 司	
札幌	札幌地裁	齊 藤 恒 久	
	函館地裁	鈴 木 尚 久	
	旭川地裁	山 崎 隆 介	
	釧路地裁北見支	川 勝 庸 史	
高松	高松地裁	横 路 朋 生	
	徳島地裁	中 嶋 謙 英	
	高知地裁	泉 地 賢 治	
	松山地裁	岡 本 陽 平	

合計 50 人

平成26年10月27日

平成26年度特別研究会（第5回）参加者 殿

司法研修所事務局長 吉崎佳弥

平成26年度特別研究会（第5回，当事者の特性に応じた審理の在り方）について（事務連絡）

標記の研究会について，下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所，宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

平成27年1月15日（木）午前9時20分 当研修所別館 研修棟3階
受付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については，当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は，研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

- 1 日程表 (案)
- 2 参加者名簿

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容								
1	15	木	裁判所職員総合研修所（総研）と合同実施								
			9:30	9:40	10:10	10:20	11:50	12:50	15:40	16:00	17:30
			開始 あいさつ	説明 「要配慮者を取り巻く最近の状況について」 (仮題) 民事局第二課長 余多分 宏 聡		講演 「障害者に対する配慮について」 (仮題) 国立障害者リハビリ テーションセンター ○ ○ ○ ○		「要配慮者疑似体験」 (仮題)		講演と意見交換 「聴覚障害のある人へのわかりやすい伝え方～法廷活動を通じて感じたこと」 弁護士 田 門 浩	
			総研と合同実施				14:00	16:00			
			9:40				13:40				終了
			共同研究（班別討議・全体討議） 「当事者等の特性に応じた配慮を要する民事事件における 裁判官と書記官の協働について」				共同研究 「障害者，プライバシーの保護に配慮を要する者を当事者等とする民事事件の審理運営上の諸問題」 東京地裁判事 清 水 響 民事局第二課長(情報提供) 余多分 宏 聡 司研教官(司会) 藤 澤 裕 介				
			16	金							

※ 総研との合同懇談会を予定

平成26年度特別研究会（第5回，当事者の特性）

参加者名簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考	
東京	東京地裁	山 原 佳 奈		
	横浜地裁	小 野 瀬 昭		
	さいたま地裁	大 島 淳 司		
	千葉地裁	瀬 戸 啓 子		
	水戸地裁	日 下 部 克 通		
	宇都宮地裁	岩 坪 朗 彦		
	前橋地裁	大 野 和 明 子		
	静岡地裁沼津支	高 取 真 理 子		
	甲府地裁	三 重 野 真 人		
	長野地裁松本支	今 岡 健		
	新潟家裁長岡支	石 田 佳 世 子		
大阪	大阪地裁	佐 伯 良 子		
	京都地裁	上 田 賀 代		
	神戸地裁	間 明 充 子		
	奈良地裁	池 上 尚 子		
	大津地裁	山 口 雅 裕		
	和歌山地裁	山 下 隼 人		
	名古屋	名古屋地裁	猪 股 直 子	
名古屋	津地裁	佐 田 崇 雄		
	岐阜地裁	唐 木 浩 之 彦		
	福井地裁	石 田 明 彦		
	金沢地裁	峯 金 容 子		
	富山地裁高岡支	内 堀 宏 達		
	広島	広島地裁	吉 岡 茂 之 男	
	山口地裁下関支	大 藪 和 純 一		
広島	岡山地裁	北 澤 元 慶 雄		
	鳥取地裁	力 三 島 琢 一		
	松江地裁	三 島 興		
	福岡	福岡地裁	石 上 賀 勝 治	
	佐賀地裁唐津支	志 西 正 洋		
	長崎地裁大村支	中 川 口 正 樹		
	大分地裁杵築支	川 口 正 敏 彦		
福岡	熊本地裁	桂 木 正 樹 彦		
	鹿児島地裁	杉 本 敏 利		
	宮崎地裁	安 本 部 利 幸		

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
福岡	那覇地裁沖繩支	味 元 厚 二 郎	
仙台	仙台地裁	内 田 哲 也	
	福島家裁郡山支	南 雲 大 輔	
	山形地裁酒田支	室 橋 秀 紀	
	盛岡地裁一関支	大 野 晃 宏	
	秋田地裁大館支	澤 田 久 文	
	青森地裁	池 田 幸 司	
札幌	札幌地裁	齊 藤 恒 久	
	函館地裁	鈴 木 尚 久	
	旭川地裁	山 崎 隆 介	
	釧路地裁北見支	川 勝 庸 史	
高松	高松地裁	横 路 朋 生	
	徳島地裁	中 嶋 謙 英	
	高知地裁	泉 地 賢 治	
	松山地裁	岡 本 陽 平	

合計 50 人

日 程 表

月	日	曜	実 施 内 容								
1	15	木	裁判所職員総合研修所（総研）と合同実施								
			9:30	9:40	10:10	10:20	11:50	12:50	15:40	16:00	17:30
			開始 あいさつ	説明 「要配慮者を取り巻く最近の状況について」 民事局第二課長 余多分 宏 聡		講演 「障害者に対する配慮について」 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局総合相談支援部総合支援課長 小松原 正道		障害者疑似体験		講演と意見交換 「聴覚障害のある人へのわかりやすい伝え方～法廷活動を通じて感じたこと」 弁護士 田 門 浩	※
			総研と合同実施					14:00	16:00		
			9:40	【休憩】 11:50～12:50			13:40				
			共同研究（班別討議・全体討議） 「当事者等の特性に応じた配慮を要する民事事件における裁判官と書記官の協働について」 (班別討議) 1班 司研教官 花 村 良 一 総研教官 宮 下 修 2班 司研教官 藤 澤 裕 介 総研教官 森 岡 泰 彦 3班 総研教官 大 寄 久 弓 総研教官 蒔 田 真 志 4班 総研教官 前 田 志 織 総研教官 天 本 晴 美 5班 総研教官 川 山 弘 総研教官 藤 木 泰 貴 洋					共同研究 「障害者、プライバシーの保護に配慮を要する者を当事者等とする民事事件の審理運営上の諸問題」 東京地裁判事 清 水 響 民事局第二課長(情報提供) 余多分 宏 聡 司研教官(司会) 藤 澤 裕 介		終 了	
		16	金								

※ 総研との合同懇談会を予定

司研企一第546号

(人ろ-08)

平成26年9月11日

高等裁判所長官 殿

司法研修所長 山 名 学

平成26年度特別研究会（第6回，現代社会における法と裁判実務）の実施について（通知）

標記の研究会を下記のとおり実施しますから，貴庁管内の参加者を10月2日（木）までに推薦してください。

記

1 研究会の目的

先例に乏しい一方で，二当事者の関係には必ずしも還元されない多面的な意見や利害の深刻な対立を内包するような訴訟について，訴訟運営の観点から研究，討議を行うとともに，併せて，今後予定されている債権法改正についての情報を提供し，同改正によって裁判実務にどのような影響があるか等について考える。

2 研究期間

平成27年2月9日（月）及び10日（火）の2日間

3 研究場所

司法研修所

4 カリキュラム

別添の日程表（案）のとおり

5 対象者

高等裁判所又は地方裁判所で民事事件を担当している判事

6 人員

50人

高裁管内別	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌	高松	計
人員	11	6	6	5	8	6	4	4	50

7 宿舎

宿舎を必要とする参加者については、当研修所の宿舎を用意する。

平成26年度特別研究会（第6回，現代社会における法と裁判実務）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容					
2	9	月	9:50	10:00	12:30	13:30	17:15	※
			開始 あいさつ	講演 「現代社会における社会・経済状況の変化と債権法改正」 (仮題)		共同研究（パネルディスカッション） 「社会・経済状況の変化と現代型訴訟を巡って」 (仮題)		
						○○大学大学院教授 ○ ○ ○ ○ 弁護士 ○ ○ ○ ○ 法務省○○○○ ○ ○ ○ ○ ○○高裁部総括判事 ○ ○ ○ ○ 司法研修所教官（司会） 原 克 也		
	10	火	10:00	12:00	13:00	15:00		終了
				講演・情報提供と意見交換 「債権法改正と民事裁判実務」 (仮題)				
				東京地裁部総括判事 村上正敏 民事局第一課長（情報提供） 福田千恵子				

※ 懇談会（17:30～18:50）を予定

平成26年10月15日

**平成26年度特別研究会（第6回、現代社会における法と裁判実務）
の実施要領**

[1日目]

1 講演「現代社会における社会・経済状況の変化と債権法改正」（仮題）

今時の債権法改正作業において中心的役割を担っている[]氏を講師として、債権法改正の背景にある社会・経済状況の変化と債権法改正における重要な論点及び今後の予定等に関する講演をしていただく予定である。

2 共同研究（パネルディスカッション）「社会・経済状況の変化と現代型訴訟を巡って」（仮題）

[]の[]（民訴法）、安原幸彦弁護士、法務省の角井俊文民事訟務課長及び東京高裁の福田剛久判事を講師として、二当事者の関係には必ずしも還元されない多面的な意見や利害の深刻な対立を内包する現代型訴訟を念頭に、審理運営に関する以下のような項目について、講演いただくとともに、パネルディスカッション形式による意見交換を行う予定である。

- ①波及効に配慮すべき訴訟において、必要な社会的知見を確保する方策
- ②中立公平な専門家の確保が困難な専門的知見を要する訴訟において、専門的証拠を評価する手法
- ③政策形成訴訟、多地裁係属型訴訟等において、審理運営上配慮すべき事項
- ④その他

[2日目]

3 講演・情報提供と意見交換「債権法改正と民事裁判実務」（仮題）

法制審議会（民法（債権関係）部会）委員でもある東京地裁の村上正敏判事を講師として、改正要綱（仮）案について、その基本的な考え方や改正要綱（仮）案を前提とする法改正が行われたとすれば民事裁判実務（執行、保全及び破産

を含む。)がどのように変わるのかなどといった点に関する講演をしていただき、併せて最高裁民事局第一課長からの情報提供を受ける予定である。また、研究員との間で質疑応答、意見交換も行う。

平成26年度特別研究会（第6回、現代社会における法と裁判実務）

参加者名簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京高裁	鈴木 正弘	
	東京地裁	澤野 芳夫	
		茂木 典子	
	横浜地裁	寺本 昌広	
	さいたま地裁	中山 雅之	
	千葉地裁	森田 浩美	
	水戸地裁	小林 邦夫	
	宇都宮地裁	吉田 尚弘	
	前橋地裁	原 道子	
	静岡地裁	大久保 正道	
大阪	新潟地裁高田支	榮 岳夫	
	大阪地裁	安西 儀晃	
	京都地裁	浅見 宣義	
	神戸地裁	伊良原 恵吾	
	奈良地裁葛城支	奥野 寿則	
	大津地裁	山本 善彦	
	和歌山地裁	谷田 好史	
	名古屋	名古屋高裁	片山 博仁
名古屋地裁		永野 彦彦	
津地裁		坪井 宣幸	
岐阜地裁		入江 克明	
福井地裁		樋口 明宏	
金沢地裁		藤田 昌作	
広島	広島高裁	梅本 幸毅	
	広島地裁	絹川 泰男	
	岡山地裁	曳野 久司	
	鳥取地裁米子支	上杉 英一	
福岡	松江地裁	杉山 順嘉	
	福岡地裁	小川 基寛	
	佐賀地裁	坂本 寛行	
	長崎地裁	田中 俊規	
	大分地裁	大島 規心	
	熊本地裁	大中 村敬	
	鹿児島地裁	鎌野 真裕	
	宮崎地裁	内藤 裕之	

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
福岡	那覇地裁	片 山	信
仙台	仙台地裁	高 宮	健 二
	福島地裁郡山支	上 拂	大 作
	福島家裁会津若松支	佐 藤	康 憲
	盛岡地裁	小 川	理 津 子
	秋田地裁能代支	伊 東	智 和
	青森地裁弘前支	西 村	康 一 郎
札幌	札幌地裁	内 野	俊 夫
	函館地裁	矢 口	俊 哉
	旭川地裁	武 藤	貴 明
	釧路地裁帯広支	橋 爪	信 久
高松	高松地裁	福 田	修 久
	徳島地裁	黒 田	豊 利
	高知地裁	石 丸	将 利
	松山地裁	森 實	将 人

合計 50 人

平成26年11月11日

平成26年度特別研究会（第6回）参加者 殿

司法研修所事務局長 吉崎佳弥

平成26年度特別研究会（第6回，現代社会における法と裁判実務）について（事務連絡）

標記の研究会について，下記のとおりお知らせします。

記

1 日程

日程表（案）のとおり

2 場所，宿舎等

(1) 場所

司法研修所別館

埼玉県和光市南二丁目3番5号

(2) 集合

平成27年2月9日（月）午前9時40分 当研修所別館研修棟3階受付

(3) 宿舎

宿舎を必要とする参加者については，当研修所別館の宿泊棟（なごみ寮）を用意する。

3 参加者

参加者名簿のとおり

4 旅費

参加に要する旅費は，研究会期間中に当研修所において支給する。

添付書類

1 日程表 (案)

2 参加者名簿

平成26年度特別研究会（第6回，現代社会における法と裁判実務）

日 程 表（案）

月	日	曜	実 施 内 容					
2	9	月	9:50	10:00	12:30	13:30	17:15	※
			開始 あいさつ	講演 「現代社会における社会・経済状況の変化と債権法改正」 (仮題)		共同研究（パネルディスカッション） 「社会・経済状況の変化と現代型訴訟を巡って」 (仮題)		
	10	火	10:00	12:00	13:00	15:00		終了
				講演・情報提供と意見交換 「債権法改正と民事裁判実務」 (仮題)				
				東京地裁部総括判事（講演及び意見交換） 村上正敏 民事局第一課長（情報提供） 福田千恵子				

※ 懇談会（17:30～18:50）を予定

平成26年度特別研究会（第6回，現代社会における法と裁判実務）

参加者名簿

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
東京	東京高裁	鈴木 木	正 弘
	東京地裁	澤野	芳 夫
		茂木	典 子
	横浜地裁	寺本	昌 広
	さいたま地裁	中山	雅 之
	千葉地裁	森田	浩 美
	水戸地裁	小林	邦 夫
	宇都宮地裁	吉田	尚 弘
	前橋地裁	原	道 子
	静岡地裁	大久保	正 道
	新潟地裁高田支	榮	岳 夫
大阪	大阪地裁	安西	儀 晃
	京都地裁	浅見	宣 義
	神戸地裁	伊良原	恵 吾
	奈良地裁葛城支	奥野	寿 則
	大津地裁	山本	善 彦
	和歌山地裁	山谷	好 史
名古屋	名古屋高裁	片山	博 仁
	名古屋地裁	永野	庄 彦
	津地裁	坪井	宣 幸
	岐阜地裁	入江	克 明
	福井地裁	樋口	英 明
広島	金沢地裁	藤田	昌 宏
	広島高裁	梅本	幸 作
	広島地裁	絹川	泰 毅
	岡山地裁	曳野	久 男
	鳥取地裁米子支	上杉	杉 英
福岡	松江地裁	杉山	順 一
	福岡地裁	小川	嘉 基
	佐賀地裁	坂本	寛 行
	長崎地裁	田中	俊 規
	大分地裁	大島	広 心
	熊本地裁	中村	村 敬
	鹿児島地裁	鎌野	真 敬
	宮崎地裁	内藤	裕 之

高裁管内	本 務 庁	氏 名	備 考
福岡	那覇地裁	片 山	信
仙台	仙台地裁	高 宮	健 二
	福島地裁郡山支	上 拂	大 作
	福島家裁会津若松支	佐 藤	康 憲
	盛岡地裁	小 川	理 津 子
	秋田地裁能代支	伊 東	智 和
	青森地裁弘前支	西 村	康 一 郎
札幌	札幌地裁	内 野	俊 夫
	函館地裁	矢 口	俊 哉
	旭川地裁	武 藤	貴 明
	釧路地裁帯広支	橋 爪	信
高松	高松地裁	福 田	修 久
	徳島地裁	黒 田	豊
	高知地裁	石 丸	将 利
	松山地裁	森 實	将 人

合計 50 人

平成26年度特別研究会（第6回、現代社会における法と裁判実務）

日 程 表

月	日	曜	実 施 内 容					
2	9	月	9:50	10:00	12:30	13:30	17:15	※
			開始 あいさつ	講演 「債権法改正の社会・経済的 背景について」		共同研究（パネルディスカッション） 「社会・経済状況の変化と現代型訴訟を 巡って」		
	10	火	10:00	12:00	13:00	15:00		終了
			講演・情報提供と意見交換 「債権法改正と民事裁判実務」					
			東京地裁部総括判事（講演及び意見交換） 村上正敏 民事局第一課長（情報提供） 福田千恵子					

※ 懇談会（17:30～18:50）を予定